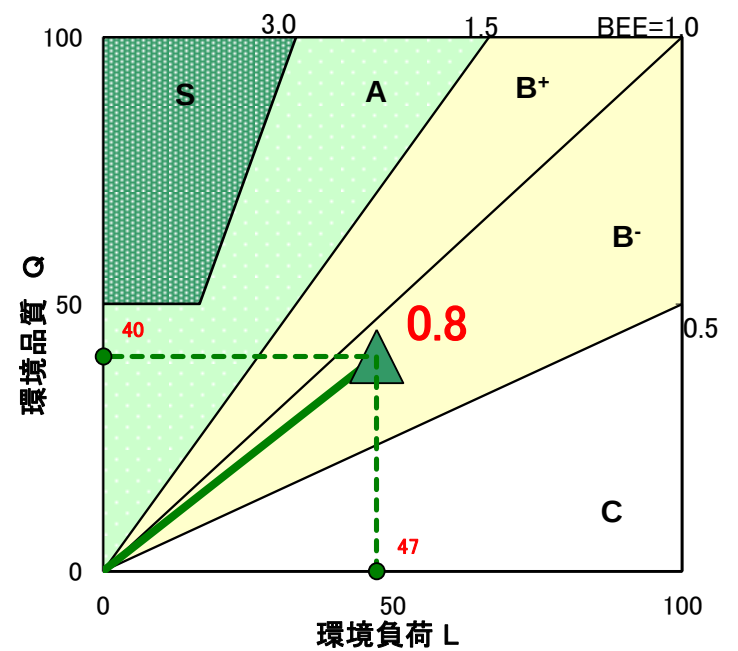


CASBEE®熊本《新築》【性能表示】

■ 建物概要				■ 外観	
建物名称	二本木マンション計画	階数	10		
建設地	熊本市西区二本木1丁目1-5、1-6、2	構造	RC造		
用途地域	商業地域	平均居住人員	150 人		
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	4,360 時間/年		
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価		
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2014年10月16日		
敷地面積	779 m ²	作成者	伊東 正太郎		
建築面積	395 m ²	確認日	2014年10月17日		
延床面積	3,211 m ²	確認者	吉永 拓郎		

1 CASBEE評価結果																																																
■ 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)																																																
★★★★★		BEE = 0.8 ■BEE(環境効率) = $\frac{Q \text{ (環境品質)}}{L \text{ (環境負荷)}}$																																														
		■環境効率評価基準 <table><thead><tr><th rowspan="2">ランク</th><th rowspan="2">ランク表示</th><th rowspan="2">評価</th><th colspan="2">判定値</th></tr><tr><th>BEE値</th><th>Q値</th></tr></thead><tbody><tr><td>S</td><td>★★★★★</td><td>素晴らしい</td><td>3.0以上</td><td>50以上</td></tr><tr><td>A</td><td>★★★★★</td><td>大変良い</td><td>1.5以上3.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁺</td><td>★★★★</td><td>良い</td><td>1.0以上1.5未満</td><td>—</td></tr><tr><td>B⁻</td><td>★★★</td><td>やや劣る</td><td>0.5以上1.0未満</td><td>—</td></tr><tr><td>C</td><td>★</td><td>劣る</td><td>0.5未満</td><td>—</td></tr></tbody></table> ■ライフサイクルCO₂ 排出性能評価基準 <table><thead><tr><th>判定値(排出率)</th><th>ランク表示</th></tr></thead><tbody><tr><td>30%以下</td><td>☆☆☆☆☆</td></tr><tr><td>30%超60%以下</td><td>☆☆☆☆</td></tr><tr><td>60%超80%以下</td><td>☆☆☆</td></tr><tr><td>80%超100%以下</td><td>☆☆</td></tr><tr><td>100%超</td><td>☆</td></tr></tbody></table>			ランク	ランク表示	評価	判定値		BEE値	Q値	S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上	A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—	B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—	B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—	C	★	劣る	0.5未満	—	判定値(排出率)	ランク表示	30%以下	☆☆☆☆☆	30%超60%以下	☆☆☆☆	60%超80%以下	☆☆☆	80%超100%以下	☆☆	100%超	☆
ランク	ランク表示	評価	判定値																																													
			BEE値	Q値																																												
S	★★★★★	素晴らしい	3.0以上	50以上																																												
A	★★★★★	大変良い	1.5以上3.0未満	—																																												
B ⁺	★★★★	良い	1.0以上1.5未満	—																																												
B ⁻	★★★	やや劣る	0.5以上1.0未満	—																																												
C	★	劣る	0.5未満	—																																												
判定値(排出率)	ランク表示																																															
30%以下	☆☆☆☆☆																																															
30%超60%以下	☆☆☆☆																																															
60%超80%以下	☆☆☆																																															
80%超100%以下	☆☆																																															
100%超	☆																																															
■ ライフサイクルCO ₂ 排出性能(ランク表示)		排出率																																														
☆☆☆☆☆		91%																																														

2 熊本県重点評価結果				
■ 重点事項総合評価				評価点
				67
【重点事項1】 温室効果ガス排出量削減の推進		評価点	■熊本県重点評価基準	
		67.2	判定値(評価点)	ランク表示
【重点事項2】 安全安心で暮らしやすい社会の実現		55.0	100点以上	
【重点事項3】 県の地域資源の有効活用と保全		77.5	80点以上100点未満	
【重点事項4】 循環型社会の実現		70.5	60点以上80点未満	
			40点以上60点未満	
			40点未満	
※評価点は、100点以上が推奨です。				

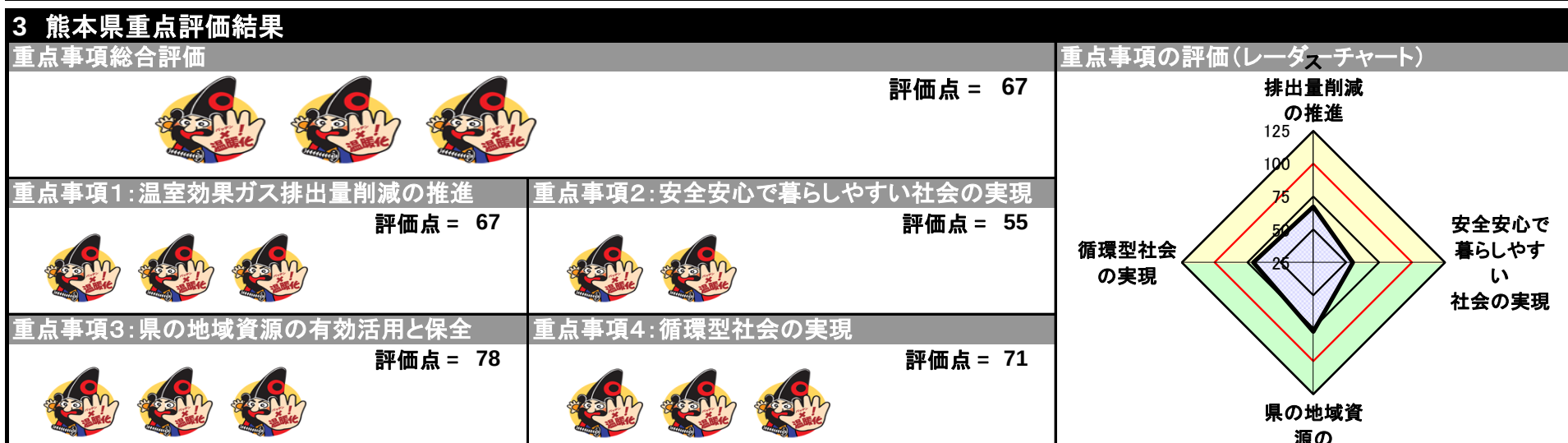
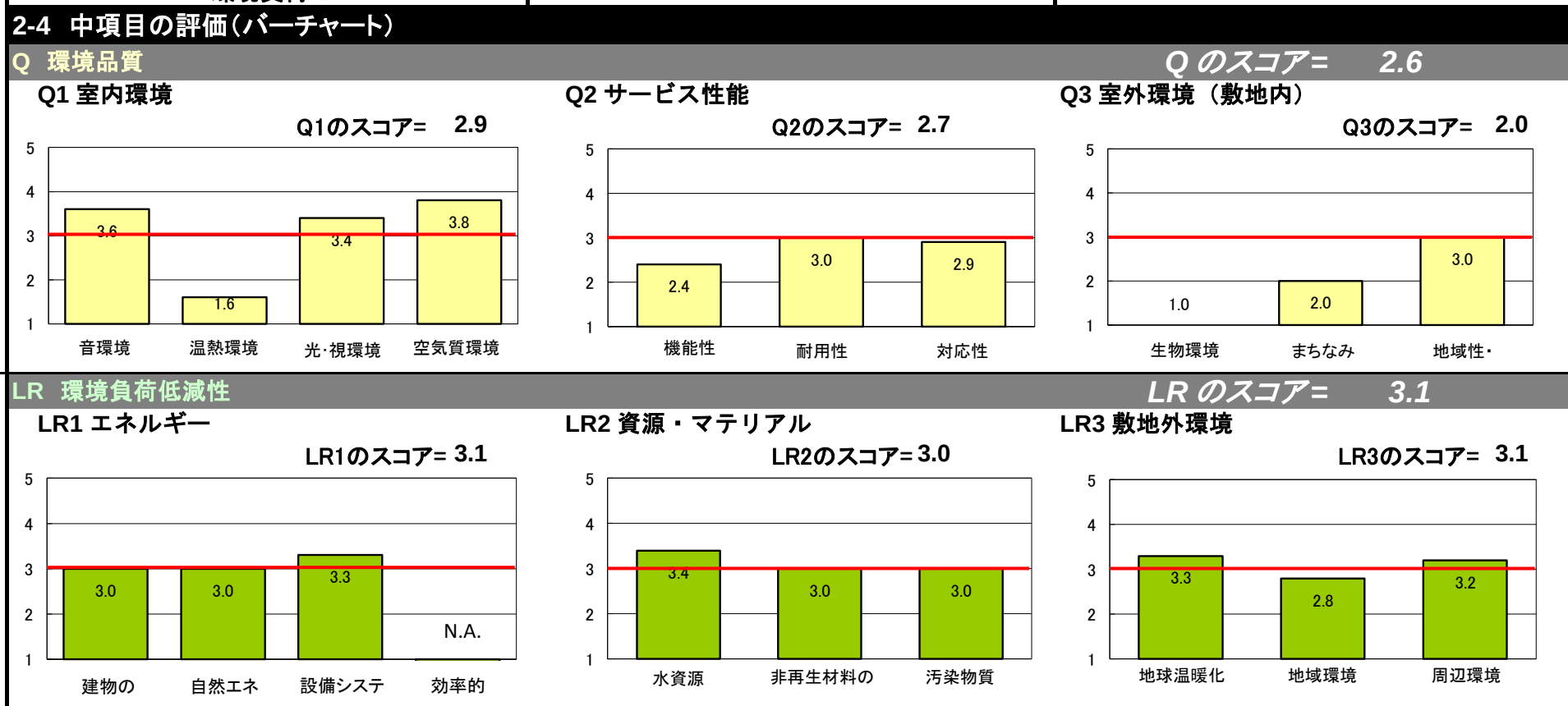
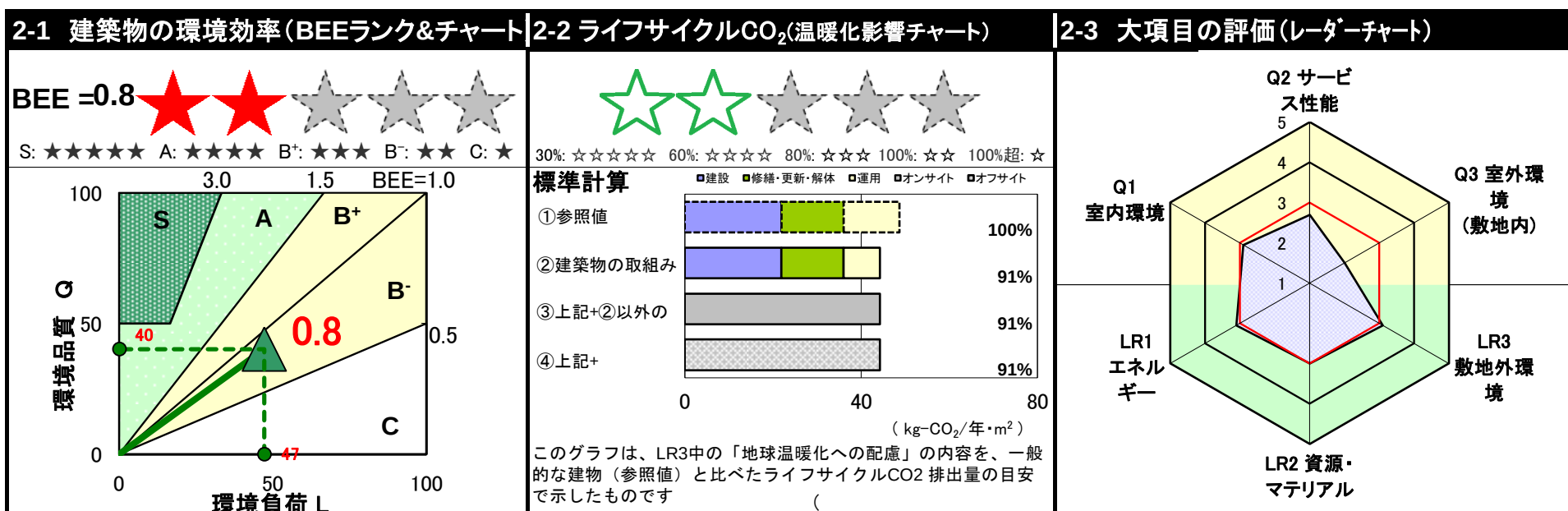
CASBEE® 熊本《新築》【評価結果】

この評価ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。

■使用評価マニュアル：CASBEE-新築(熊本市) 2010年追補版Ver.2 (BPI/BEI/省エネ)

■使用評価ソフト：CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v.2.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	二本木マンション計画	階数	10
建設地	熊本市西区二本木1丁目1-5、1-6、	構造	RC造
用途地域	商業地域	平均居住人員	150 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	4,360 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2014年10月16日
敷地面積	779 m ²	作成者	伊東 正太郎
建築面積	395 m ²	確認日	2014年10月17日
延床面積	3,211 m ²	確認者	吉永 拓郎



■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補 二本木マンション計画			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver.2 (BPVBEI対応) ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v				
スコアシート 実施設計段階									
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境						0.40			2.9
1 音環境					4.0	0.15	3.5	1.00	3.6
1.1 騒音			エントランスホール: 50dB、ROOM: 40dB	3.0	0.50	3.5	0.50		
1 室内騒音レベル		3.0		1.00	4.0	0.50			
2 設備騒音対策		-		-	3.0	0.50			
1.2 遮音				5.0	0.50	3.6	0.50		
1 開口部遮音性能		T-2以上		5.0	1.00	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能			-	-	3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)			-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音				-	-	-	-		
2 温熱環境					1.0	0.35	1.7	1.00	1.6
2.1 室温制御				1.0	1.00	1.7	0.50		
1 室温		-		-	1.0	0.63			
2 負荷変動・追従制御性		-		-	-	-			
3 外皮性能		1.0		1.00	3.0	0.38			
4 ゾーン別制御性		-		-	-	-			
5 温度・湿度制御		-		-	-	-			
6 個別制御		-		-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-		-	-	-			
8 監視システム		-		-	-	-			
2.2 湿度制御				-	-	3.0	0.20		
2.3 空調方式				-	-	1.0	0.30		
3 光・視環境					2.5	0.25	3.6	1.00	3.4
3.1 屋光利用			共用部: 1.1%(エントランスホール)、住居部: 2.0%(1ROOM2タイプ)	2.4	0.30	4.0	0.30		
1 屋光率		2.0		0.60	5.0	0.50			
2 方位別開口		-		-	3.0	0.30			
3 屋光利用設備		3.0		0.40	3.0	0.20			
3.2 グレア対策				2.0	0.30	4.0	0.30		
1 照明器具のグレア				-	-	-			
2 屋光制御		共用部: 庇、住居部: 庇+カーテン		2.0	1.00	4.0	1.00		
3 映り込み対策				-	-	-			
3.3 照度					3.0	0.15	3.0		0.15
3.4 照明制御				3.0	0.25	3.0	0.25		
4 空気質環境					3.6	0.25	3.8	1.00	3.8
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆以上	4.0	0.60	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		4.0		1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-		-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-		-	-	-			
4 レジオネラ対策		-		-	-	-			
4.2 換気				3.0	0.40	3.6	0.38		
1 換気量		0.181>0.167(1/6)(1ROOM2タイプ)		3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	5.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4 給気計画				-	-	-	-		
4.3 運用管理					-	-	-		-
1 CO ₂ の監視				-	-	-	-		
2 喫煙の制御				-	-	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	2.7
1 機能性					1.6	0.40	2.6	1.00	2.4
1.1 機能性・使いやすさ				1.0	0.40	3.0	0.60		
1 広さ・収納性		-		-	-	-			
2 高度情報通信設備対応		-		-	3.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0		1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.0	0.40		
1 広さ感・景観				-	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				-	-	-			
3 内装計画				1.0	1.00	1.0	0.50		
1.3 維持管理				3.0	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
3 衛生管理業務				-	-	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.0	0.31	-	-	3.0
2.1 耐震・免震				3.0	0.48	-	-		
1 耐震性		3.0		0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0		0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.33	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		B以上使用、E不使用		5.0	0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.23	-	-		

2.3 適切な更新								
2.4 信頼性				3.0	0.19	-	-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20	-	-	
2	給排水・衛生設備			3.0	0.20	-	-	
3	電気設備			3.0	0.20	-	-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20	-	-	
5	通信・情報設備			3.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				3.4	0.29	2.9	1.00	2.9
3.1 空間のゆとり			住居部: 2.96m	-	-	2.8	0.50	
1	階高のゆとり			-	-	4.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			-	-	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.4	1.00	-	-	
1	空調配管の更新性		構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる 構造材、仕上材を痛めずに修繕・更新できる	3.0	0.17	-	-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.17	-	-	
3	電気配線の更新性			5.0	0.11	-	-	
4	通信配線の更新性			5.0	0.11	-	-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.22	-	-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.22	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				-	0.30	-	-	2.0
1 生物環境の保全と創出				1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮				2.0	0.40	-	-	2.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー				-	0.40	-	-	3.1
1 建物の熱負荷抑制				3.0	0.40	-	-	3.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.20	-	-	3.0
2.1	自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-	
2.2	自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化			高効率設備	3.3	0.40	-	-	3.3
集合住宅以外の評価(ERRIによる評価)			#VALUE!	-		-		
集合住宅の評価			高効率設備	3.3		-		
4 効率的運用				-	-	-	-	-
4.1	モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1	節水		節水コマ、省水型機器	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無			3.0	1.00	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無			-	-	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.0	0.63	-	-	3.0
2.1	材料使用量の削減		- - 分別しやすく、交錯しない	2.0	0.07	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み			5.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.68	-	-	
1	消火剤			-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50	-	-	
3	冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境				-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮			高効率設備	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.3	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減			-	-	-	-	
2	污水处理負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
3	交通負荷抑制			3.0	0.33	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
1	騒音			3.0	1.00	-	-	
2	振動			-	-	-	-	
3	悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制				3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3	日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制				4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		光害対策ガイドラインの過半を満足	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE® 熊本《新築》【配慮事項】

4 設計上の配慮事項

総合

周囲の景観と調和するように、シンプルかつ落ち着いた外観デザインとした。
ゆとりある間取りで、各戸の快適性を重視した設計とした。

Q1 室内環境

居室の窓をなるべく大きくし、通風・採光の確保に努め、快適な住空間を目標とした。
居室のサッシはペアガラスとし、断熱性の向上を図り、遮音等級T-2以上を採用。
使用建材はF☆☆☆☆製品とし、化学物質汚染被害を防止する。

Q2 サービス性能

将来の更新を想定し、全室ビニルクロスを採用。
階高を十分に確保し、設備機器等の更新に備える。

Q3 室外環境（敷地内）

外壁仕上材の彩度を落としたデザインとし、周囲への太陽光の反射等の軽減を図る。

LR1 エネルギー

ベランダ（庇）を広めにとり、日射遮蔽性、断熱性能の向上を図る。

LR2 資源・マテリアル

限りある資源を有効に利用する。
ハロン消火剤を使用しない。

LR3 敷地外環境

狭い敷地においても可能な限り駐車場・駐輪場スペースをとり、周辺環境に配慮した。

その他

熊本県重点評価結果スコアシート

実施設計段階

建物名称 二本木マンション計画

■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010_kmt2011(v3.0)

■使用評価マニュアル: CASBEE熊本《新築》2011年版

★熊本県重点評価結果				総合評価点		67.5
重点事項				評価点	重点事項 重み係数	評価配点
重点項目(配慮項目)		スコア	重み 係数			
① 温室効果ガス排出量削減の推進				67.2	0.40	26.88
Q1-2.1.3	外皮性能	1.0	0.15			
Q1-3.1.3	昼光利用設備	3.0	0.00			
Q1-3.2.2	昼光制御	2.0	0.00			
LR1-1	建物の熱負荷抑制	3.0	0.15			
LR1-2	自然エネルギー利用	3.0	0.20			
LR1-3	設備システムの高効率化	3.3	0.30			
LR2-2.1	材料使用量の削減	2.0	0.10			
LR3-2.3.3	交通負荷抑制	3.0	0.10			
② 安全安心で暮らしやすい社会の実現				55	0.20	11.00
Q2-1.1.3	バリアフリー計画	1.0	0.25			
Q2-2.1.1	耐震性	3.0	0.25			
Q3-1	生物環境の保全と創出	1.0	0.15			
Q3-3	地域性・アメニティへの配慮	3.0	0.20			
LR3-2.2	温熱環境悪化の改善	3.0	0.15			
③ 県の地域資源の有効活用と保全				77.5	0.20	15.50
Q3-2	まちなみ・景観への配慮	2.0	0.20			
LR2-1.1	節水	4.0	0.30			
LR2-1.2.1	雨水利用システム導入	3.0	0.20			
LR2-2.5	持続可能な森林から産出された木材	3.0	0.30			
④ 循環型社会の実現				70.5	0.20	14.10
Q2-2.2	部品・部材の耐用年数	3.0	0.30			
Q2-3	対応性・更新性	3.4	0.30			
LR2-2.2	既存建築躯体等の継続使用	3.0	0.10			
LR2-2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.15			
LR2-2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	1.0	0.15			

■評価点算出式

評価点は、以下の方法により算出しています。

◆総合評価結果

総合評価点 = (各重点事項の評価点 × 各重点事項の重み係数) の総和
 ※重み係数の総和は、「1」であること。

◆各重点事項(①～④の項目)

評価点 = (各重点項目のスコア × 各重点項目の重み係数) の総和 × (5/4) × 20
 ※重み係数の総和は、「1」であること。
 ※(5/4) × 20 : スコア4点を評価点100点に変換するスケーリング定数